

授業科目名 (英文表記)	消費税法特殊問題 (Consumption Tax Law(Case Study))		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	経済学部教員(着任予定者)		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月5日(休) 18:20~19:50	第9回 12月7日(休) 18:20~19:50	
	第2回 10月12日(休) 18:20~19:50	第10回 12月14日(休) 18:20~19:50	
	第3回 10月19日(休) 18:20~19:50	第11回 12月21日(休) 18:20~19:50	
	第4回 10月26日(休) 18:20~19:50	第12回 1月11日(休) 18:20~19:50	
	第5回 11月2日(休) 18:20~19:50	第13回 1月18日(休) 18:20~19:50	
	第6回 11月9日(休) 18:20~19:50	第14回 1月25日(休) 18:20~19:50	
	第7回 11月16日(休) 18:20~19:50	第15回 2月1日(休) 18:20~19:50	
	第8回 11月30日(休) 18:20~19:50		

#### 【授業の概要・ねらい】

本講義では、消費税法における重要判例及び論点の分析をとおして、同法について体系的な理解を深めることを目的とする。概ね以下のようなテーマについて、報告者が論点整理や学説紹介を行った上で自分の意見を発表し、それに基づいて受講者全員で議論する。

#### 【授業計画】

第1回 ガイダンス	第9回 課税標準及び税額計算
第2回 課税売上げ・課税仕入れの意義	第10回 帳簿不提示と仕入税額控除
第3回 消費税法の立法行為等と憲法の関係	第11回 仕入れに係る消費税額の控除
第4回 消費税の課税対象・範囲	第12回 仕入税額控除の適用要件
第5回 非課税及び免税	第13回 仕入税額控除の計算方法
第6回 納税義務者	第14回 簡易課税制度
第7回 小規模事業者の特例	第15回 消費税の会計処理
第8回 資産の譲渡等の時期	

#### 【到達目標】

消費税法の考え方についての理解を深めることを目標とする。

#### 【成績評価の方法】

発表内容や議論への参加状況、出席状況等を総合勘案して評価する。

#### 【教科書】

必要に応じて指示する。また、事前に必要資料を配布する。

#### 【参考書・参考文献】

金子宏「租税法(最新版)」(弘文堂)、「租税判例百選(最新版)」(有斐閣)ほか、必要に応じて指示する。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

議論への積極的な参加を求めます。

#### 【履修する上で必要な事項】

法律解釈及び租税争訟手続について理解しておくこと。

#### 【受講を推奨する関連科目】

他の法律科目もあわせて受講し、リーガルマインドを養成することが望ましい。

#### 【授業時間外学習についての指示】

事前に判例研究の課題を読んで、自分の考えを整理しておくこと。